

## 紬織物のデザイン試作

渡辺 豊\*

### 1. 緒言

需要の低迷が続く産地の活性化を図るため、前年度に引き続き結城郡織物協同組合と共同してデザイン開発を行った。本年度は、日本の生活歳時記をテーマとして取り上げ、消費動向にマッチしたオリジナル性の高いデザイン開発を行ったので報告する。

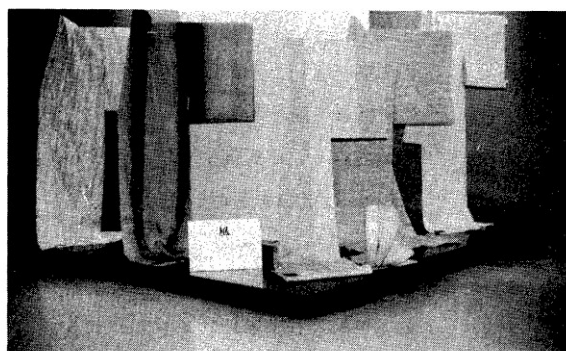
### 2. 内容(デザイン試作)

- (1) 日本の四季にかかわる生活催事に着用することを想定して、若向きと年配向きに分け、1 月から 12 月までの月毎の行事に合わせて、豊かで繊細な四季の感性を表現した。
- (2) デザインは、春(花),夏(風),秋(月),冬(雪)をイメージに4 つのテーマに分け、色は四季折々に変化する自然の美しさから感じ取られるイメージの色調を用いた。柄は、縞柄,かすり柄(ヨコ餅,タテ緋)の組合せを中心とした表現を行い、オリジナル性を持たせるため、複合技法を試みたデザイン開発を行った。また、夏物については、夏のきものとして要求される清涼感を持たせるため、素材及びデザインの表現を考慮した。

ターゲットは、20 才代～30 才代と50 才代～60 才代を想定した。

### 3. 結果

今年度行ったデザイン開発は、産地の特性を考慮した新しいデザインの創出と既存製品から受ける産地イメージにおいて、一定の評価を得た。また、新しい製品企画の提案により、ものづくりにおいて「語」を添えた製品化による求評展示会(京都)を開催し、消費市場において高い評価を得た。



窓 図1 テーマ「風」

6 月—夏の露 7 月—彩虹 8 月—明

6 月—滝の音 7 月—南風